

授業科目	臨床薬理学				
担当者	名徳 倫明 (実務経験者)・中嶋秀人 (実務経験者)・池田宗一郎 (実務経験者)・ 下村裕章 (実務経験者)・藤岡重和 (実務経験者)				(オムニバス)
実務経験者の概要	科目担当者である中嶋、池田、下村、藤岡は、医療機関において内科医師として診療業務に従事している。名徳は医療機関において薬剤師として業務に従事していた。				
学科名	理学療法学専攻	学 年	3年	総単位数	1単位
	作業療法学専攻	開講時期	前期	選択・必修	選択

## ■ 内 容

リハビリテーション医療は、医師、療法士、看護師、薬剤師、栄養士など多職種によるチーム医療であり、脳神経疾患、循環器疾患、呼吸器疾患、悪性腫瘍、精神疾患を有する対象者の理解、評価のために薬理学の基礎的知識が必要とされる。本講義では、薬剤の体内動態、頻用薬剤の薬理作用、副作用、器官毒性とその発現メカニズムを学習する。特に、理学療法士、作業療法士の実地臨床上、重要である神経、筋に作用する薬剤、循環器治療薬、呼吸器治療薬等については、症例提示により実践的知識の修得を目指す。東洋医学の基礎、漢方薬についても学習する。

## ■ 到達目標

1. 薬剤の体内動態、頻用薬剤の薬理作用、副作用を説明できる。
2. 代表的な神経、筋作用薬、循環器治療薬、呼吸器治療薬について説明できる。

## ■ 授業計画

第1回	臨床薬理学総論 (1)	薬剤の体内動態	名徳倫明 (実務経験者)
第2回	臨床薬理学総論 (2)	頻用薬剤の薬理作用、副作用	名徳倫明 (実務経験者)
第3回	臨床薬理学各論 (1)	脳卒中と治療薬	中嶋秀人 (実務経験者)
第4回	臨床薬理学各論 (2)	神経疾患と治療薬	中嶋秀人 (実務経験者)
第5回	臨床薬理学各論 (3)	呼吸器疾患と治療薬	池田宗一郎 (実務経験者)
第6回	臨床薬理学各論 (4)	各種感染症と治療薬	池田宗一郎 (実務経験者)
第7回	臨床薬理学各論 (5)	循環器疾患、生活習慣病の治療薬 下村裕章 (実務経験者) 藤岡重和 (実務経験者)	
第8回	臨床薬理学各論 (6)	東洋医学の基礎、漢方薬、国試対策 下村裕章 (実務経験者) 藤岡重和 (実務経験者)	

## ■ 評価方法

【科目試験 (筆記試験) 100%】

## ■ 授業時間外の学習 (予習・復習等) について

各授業では、次回までに学習すべき課題を提示しますので、事前学習を必ずしておいてください。また、次回授業までに、前回の授業内容を各自ノートにまとめて十分に復習してください。

## ■ 教科書

## ■ 参考図書

書 名：臨床薬理学 (NURSING GRAPHICUS 疾患の成り立ち 2)  
著者名：古川裕之  
出版社：MC メデイカ出版

## ■ 留意事項

試験の際に不正な行為があったと認められた者については、規程に定める第16条を適用し、当該学期の全ての試験を無効とし、失格（留年）とする。

## ■ 講義受講にあたって